

交差点 111号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和8年3月

車から ぼくたちみえない 手をあげよう

内閣総理大臣賞

合言葉 止まる待つ見る 守ろうよ

文部科学大臣賞

「令和8年使用交通安全年間スローガン」(全日本交通安全協会・毎日新聞社)【こども部門】より

春の交通安全について保護者の皆さまへ

厳しい寒さも過ぎ、いよいよ子どもたちが期待に胸を膨らませる新入学(園)・新学期がやってきます。

子どもたちの行動範囲が広がる季節となりますが、雪解けに伴って車のスピードも出やすくなり、子どもを巻き込んだ交通事故の危険性が高まる時期でもあります。

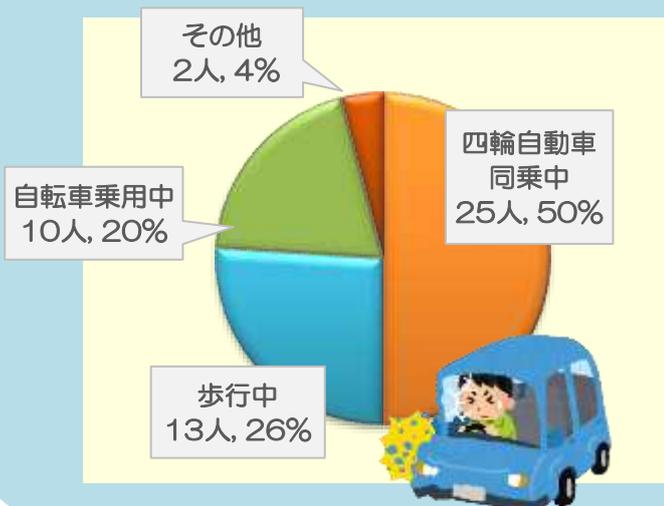
令和7年中の札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故負傷者数は219人。3月から5月にかけての期間には、50人が交通事故により負傷しています。

子どもたちが明るく笑顔で新学期を迎えることができるよう、春休み期間中にぜひご家庭で交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

札幌市内における中学生以下の交通事故実態

令和7年1月～12月の死者数	0人(前年比：-1人)
負傷者数	219人(前年比：+14人)
春期間(令和7年3月～5月)の死者数	0人(前年比：-1人)
負傷者数	50人(前年比：+10人)

中学生以下の状態別負傷者数(令和7年3月～5月)



春の交通事故を状態別で見ると、四輪自動車同乗中の負傷者が25人と、全体の半数を占めました。交通事故から身を守るため、自動車に乗るときは、シートベルトの全席着用を徹底しましょう。

また、道路を渡るときは必ず横断歩道を渡りましょう。青信号に変わっても車がきていないか左右をしっかりと確認してから渡るようにしましょう。自転車に乗るときは自転車用ヘルメットを着用し、スマホ使用などのながら運転は絶対にやめましょう。

交通安全指導のポイント

- 道路を渡るときは必ず横断歩道を渡ること、横断する前に「止まる・見る・聞く・待つ」で周囲をよく確かめること、家の近くや登下校経路での注意が必要な箇所などを、一緒にしっかり確認しておきましょう。
- 車の前に飛び出さない、道路や道路のそばで遊ばないように指導しましょう。
- 歩道は歩行者が優先です。自転車に乗るときはヘルメットを着用し、スピードを落として歩行者の安全を守りましょう。自転車はルールを守って安全な利用をしないと、被害者にも加害者にもなる大きな事故につながることをしっかりと伝えましょう。
- ドライバーから子どもが見えやすくなるよう、明るい色の服装や夜光反射材を身に着けるなど、目立たせる工夫をしましょう。

* * ぜひご活用ください * *

札幌市交通安全運動推進委員会では、毎年市内の学校ハンドセルカバーや交通安全啓発冊子をお送りしています。



ランドセルカバー、黄色いワッペン（保険付）は新入学児童分を小学校へ、冊子「セーフティ自転車ライダーのススメ!」は全生徒分を中学校・高校へ配布しています。



・・・ 交通事故にあわないために ・・・

どうろをわたるまえに



くるまがこないか



くるまのおとを



くるまがとおりすぎるまで

